

## 海洋生物学研究会の発足について

海洋生物学研究会長 杉崎 宏哉

近年の科学の発展により、自然科学への詳細な理解が進むとともに人為起源の環境変動問題も現出し、現在の海洋科学は大きな変換点を迎えています。顕著な情報技術の進歩は学術分野を跨いだ学際研究を活性化させ、多くの新たな科学的発見・創造をもたらしています。特に海洋生物学・生態学の分野では、海洋の物理学や化学等との連携および分子生物学の発展など、急速な進歩がみられています。このような科学環境変化の中で、種の同定、生理特性や生活史の解明、被食―捕食・種間関係の把握、海域や環境による種組成や食物網構造といった海洋生物学の基盤となる研究は、海洋生物学だけではなく、他の学術分野との連携を進める上でもますます重要性が高まっており、これからの海洋学の進歩に不可欠な情報を提供する分野といえます。そこで、日本海洋学会が海洋生物学に関わる研究活動を振興し、その学際領域研究を発展させるために何らかの方策を取るべきと考え、日本海洋学会内に「海洋生物学研究会」の発足を提案し、2016年9月の評議員会で承認いただきました。

海洋生物学研究会は海洋生物学の振興、普及をはかることで、海洋学全体の発展と、海からの恵みに依存する人間社会に貢献することを目的とし、主な活動としては研究会会則により定められた海洋生物学委員会と学会幹事による事務局が主体となって海洋生物学研究会シンポジウム等を企画・運営して発表と議論の場を設け、特に学生・若手研究者の研究活動を支援します。また、国内の関連する生物系学会とも連携し、より多くの科学者・学生が海洋科学に接する機会を設けることにより、海洋学会の発展を目指していくものです。

入会金および会費は無料で、研究会に活動の関心のある海洋学会員ならどなたでも入会できます。第一回海洋生物学シンポジウムは、2017年3月21、22日に東京海洋大学で開催されます。水産海洋学会とプランクトン学会のシンポジウムの併催を予定しており、海洋生物をテーマに研究者の活発なコミュニケーションの場を提供いたします。シンポジウムの開催案内等は改めてご連絡させていただきますので、ふるってご参加ください。